

H班

課題

- 場面
 - 生徒主体の器械運動実技において
- 問題
 - 課題解決の手助け
- 方法
 - ICTをどのように活用するか

ITの環境

- 体育館への校内LAN敷設なし
- 但しスタンドアロンでのPC、プロジェクタ持込は可能
- デジカメ 4台程度

留意点・ポイント

- 運動量の確保
- 一単位(50分)の中で、生徒が課題を見つけ修正できるツールとして活用したい
- 時間や手間をかけずに行いたい
- 教師が手間をかけなくても生徒自身が気づき、修正する力をつけたい
- 生徒主体での授業実践
- 生徒数60~75人(TT)での授業が前提
- 単元の中で、生徒自身が選択(跳び箱、マット、平均台...)
- 10グループ程度に分かれて練習する

	すぐできる	年間通したらできる	将来できる
なくてもできる	模範演技を見せる 生徒同士で励ましあう 段階を踏んで、ステップアップさせる 模範演技の動画コンテンツを見せ、練習させる		
ツール	デジカメで連続写真や動画を生徒同士が撮影し、確認しあう	遅延再生装置(デジカメ)を使って、実践直後に確認する 他の単元でも活用が可能	学習カードを作成して、生徒に気づかせ、修正させる 学習カードのよいものを選定して、次回授業時に活用する 学習カードを作るツールとして「チルドレンライブラリ」を活用する PCLレスのプロジェクタを使って、模範演技などを投影する
同意形成(校内)	デジカメ追加購入の同意形成		

